

1 保健医療圏の概況

県南東部保健医療圏は、平成21(2009)年4月に政令指定都市へ移行した岡山市及び岡山地域（玉野市、瀬戸内市、吉備中央町）、東備地域（備前市、赤磐市、和気町）の5市2町からなっています。

当圏域は県の東南部に位置し、面積は1,899.47k㎡（平成28(2016)年10月1日現在）で、岡山県の約27%を占めています。北部には吉備高原があり、南部は瀬戸内海に面しています。また、県内三大河川の旭川と吉井川が南北に流れ、流域に広大かつ肥沃な岡山平野を形成しています。瀬戸内海式気候で、温暖であり、台風・降雪も比較的少なく、恵まれた自然環境にあります。

当圏域には、本県の空の玄関である岡山空港があり、内外貿易の拠点である宇野港や岡山港などが整備され、山陽新幹線、山陽本線、瀬戸大橋線、赤穂線等の鉄道網や、山陽自動車道、中国横断自動車道（岡山一米子線）、国道2号、30号、53号の道路網が縦横に走っており、名実ともに中四国の交通結節点となっています。

2 保健医療圏の保健医療の現状

(1) 人口及び人口動態

① 人口

ア 人口の推移

平成27(2015)年10月1日現在の当圏域の人口は921,940人で、岡山県の47.9%を占めています。人口の推移をみると、岡山市は一貫して増加していますが、岡山地域、東備地域は昭和60年以降減少しています。

図表11-1-2-1 人口(各年10月1日現在)

(単位:人)

区分	岡山市	岡山地域	東備地域	圏域
昭和55(1980)年	590,424	131,108	105,401	826,933
60(1985)年	618,950	131,188	106,944	857,082
平成 2(1990)年	640,406	127,277	105,176	872,859
7(1995)年	663,346	126,065	105,093	894,504
12(2000)年	674,375	123,621	103,162	901,158
17(1005)年	696,172	120,168	100,334	916,674
22(2010)年	709,584	115,473	96,659	921,716
27(2015)年	719,474	109,661	92,805	921,940

(資料:総務省統計局「国勢調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

<注> 旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

※県南東部保健医療圏域を岡山市、岡山市周辺の岡山地域(玉野市、瀬戸内市、吉備中央町)、東備地域(備前市、赤磐市、和気町)に区分して統計を表記した。

なお、各欄の数値は原則としてその当時の行政区域によるが、加工を行ったものは、それぞれ <注>を表示した。

イ 年齢階級別人口

人口の構成をみると、年少人口(0歳～14歳)は119,867人で13.2%、生産年齢人口(15歳～64歳)は544,522人で69.9%、老年人口(65歳以上)は245,117人で26.9%となっています。岡山県と比較すると、年少人口は同率ですが、老年人口比率は1.8%低く、その分生産年齢人口の割合が大きくなっています。

図表11-1-2-2 人口構成(平成27年10月1日現在)

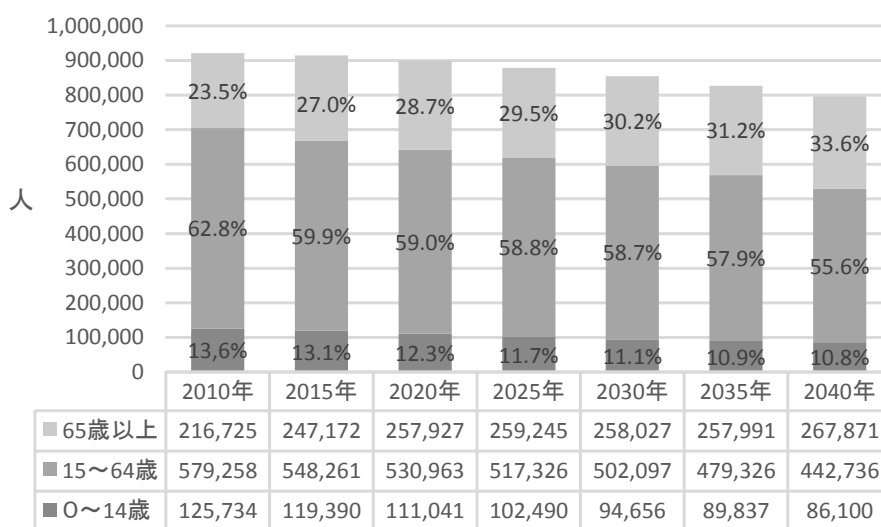
区分	総数	0歳～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
		年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)
圏域	921,940	119,867	13.2	544,522	59.9	245,117	27.0
岡山県	1,921,525	247,890	13.1	1,098,140	58.2	540,876	28.7

(資料:岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

※「総数」には年齢不詳等を含む。

※構成比については、分母から年齢不詳を除いて算出している。

図表11-1-2-3 県南東部圏域の将来人口の推計



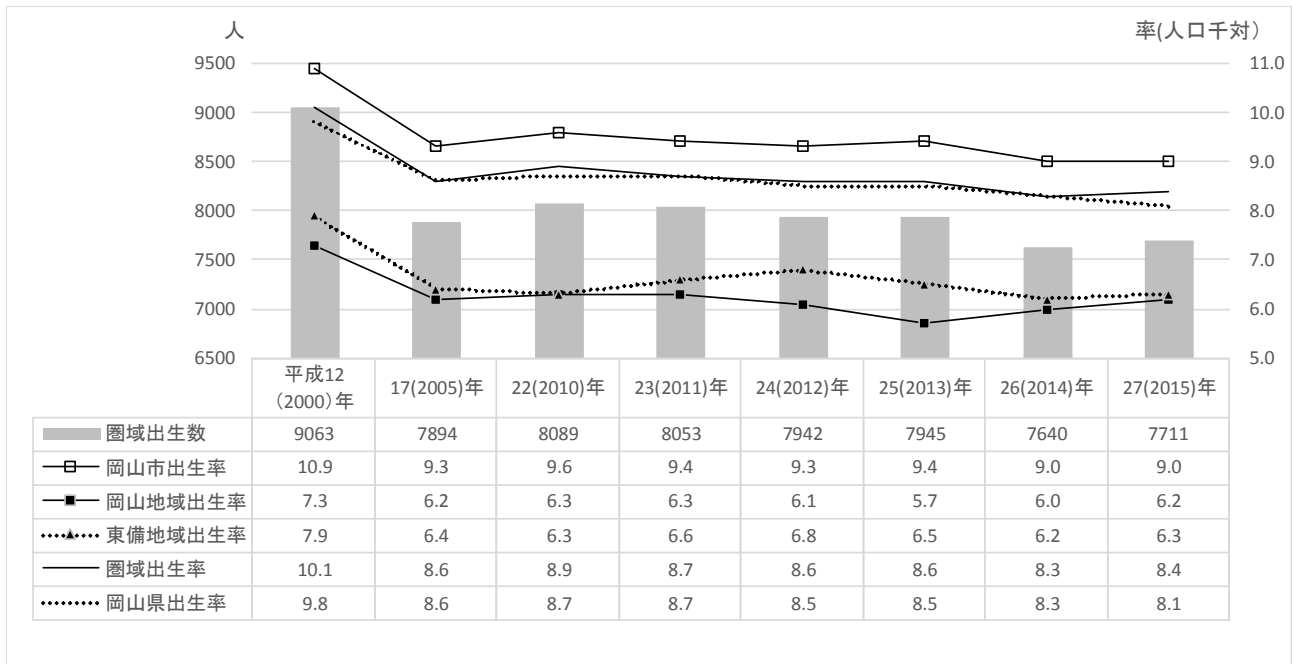
(資料:国立社会保障・人口問題研究所)

② 人口動態

ア 出生

平成27(2015)年の出生数は7,711人、出生率(人口千対)は8.4で、岡山県と同率です。岡山市の出生率は9.0と高く、岡山地域、東備地域の出生率はそれぞれ6.2、6.3と岡山県より低くなっています。出生率の推移をみると、平成25(2013)年以降、減少傾向にあります。

図表11-1-2-4 出生数及び出生率の推移



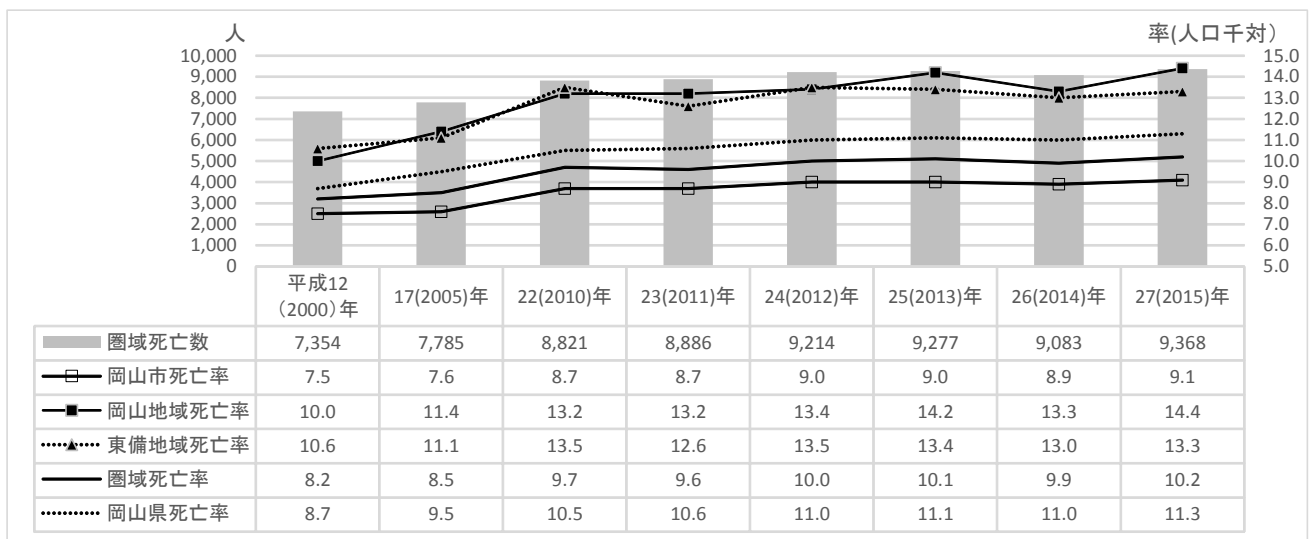
(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

イ 死亡

(ア) 死亡数の推移

平成27(2015)年の死亡数は9,368人、死亡率(人口千対)は10.2で、岡山県の11.3と比べ1.1ポイント低くなっています。岡山市の死亡率は9.1と低く、岡山地域、東備地域はそれぞれ14.4、13.3と岡山県より高くなっています。高齢化の進展とともに死亡率は増加傾向にあります。

図表11-1-2-5 死亡数及び死亡率(人口千対)



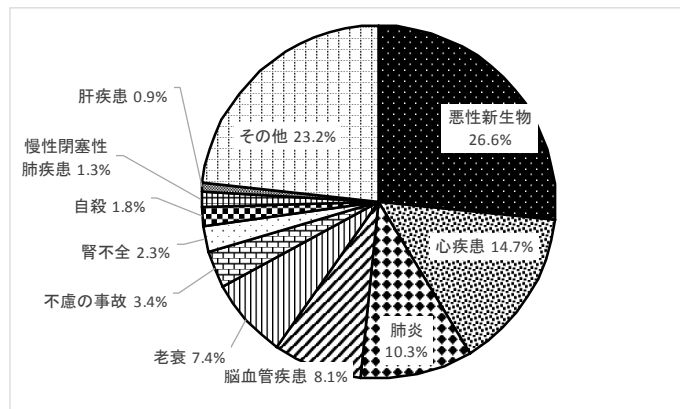
(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「毎月流動人口調査」)

<注> 旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

(イ) 主な死因別の死亡割合

主な死因別の死亡割合では、悪性新生物、心疾患、肺炎の順に多く、これらの三大死因で全死因の51.6%を占めています。

図表11-1-2-6 主な死因の内訳(平成27(2015)年)



(資料:厚生労働省「平成27(2015)年人口動態統計」)

(ウ) 標準化死亡比※

平成20年から平成24年の5年間の人口動態統計から算出された標準化死亡比をみると、総死亡をはじめ多くの疾患で100を下回っています。

部位別の悪性新生物をみると、肝及び肝内胆管では岡山市の男性、岡山地域の女性、東備地域の男性が110より高くなっています。また、心不全は、圏域の全地域で100より高くなっています。腎不全は岡山市の男性を除いて高く、特に岡山地域は男女とも120を超えています。岡山地域では男女とも急性心筋梗塞が130を超えています。

図表11-1-2-7 疾患別標準化死亡比(平成20(2008)年～24(2012)年)(全国100)

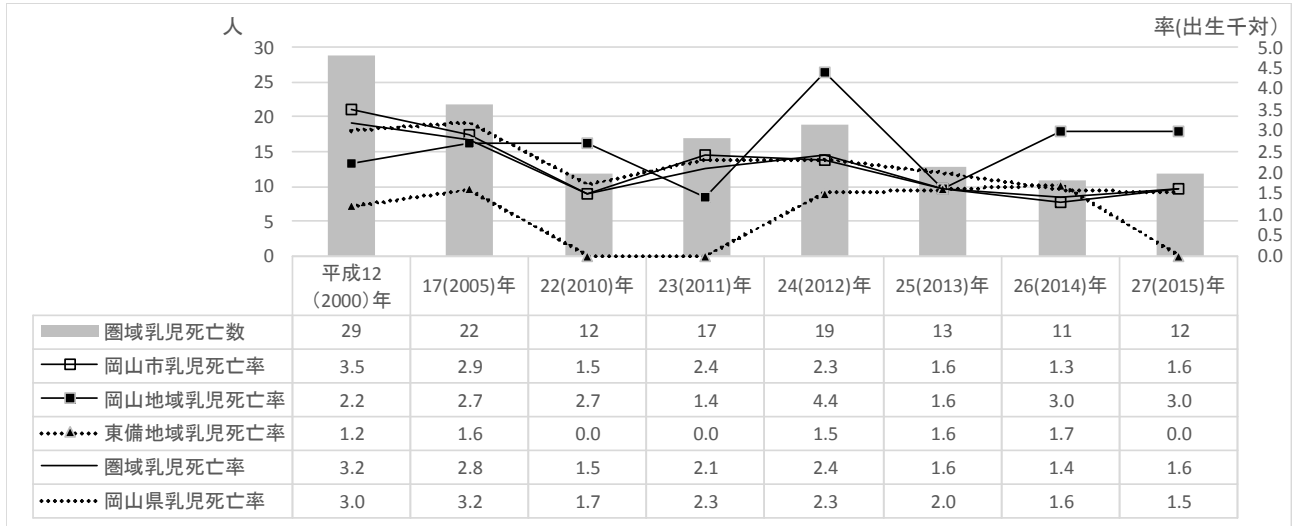
区分	全死因		悪性新生物									
			総数		胃		大腸		肝及び肝内胆管		気管、気管支及び肺	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
岡山市	95.8	93.7	95.5	91.8	87.6	94.0	81.5	79.3	114.5	98.8	102.5	93.3
岡山地域	98.5	97.4	91.2	94.0	86.5	89.0	58.1	69.7	105.2	131.9	102.7	102.5
東備地域	102.1	99.1	96.2	88.7	82.7	101.1	64.5	76.1	121.9	107.5	103.9	79.7
圏域	99.6	97.6	94.0	91.4	85.0	94.9	64.2	73.8	113.7	116.7	103.2	91.4
岡山県	97.3	94.8	93.1	90.1	87.1	93.8	77.8	78.2	105.5	108.1	99.1	86.9
区分	心疾患(高血圧性除く)						脳血管疾患					
	総数		急性心筋梗塞		心不全		総数		脳内出血		脳梗塞	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
岡山市	95.7	90.3	118.3	119.4	123.3	102.5	92.4	97.1	85.7	87.7	89.9	94.5
岡山地域	97.9	89.8	134.3	136.7	120.2	102.1	100.5	89.1	108.2	83.5	96.0	82.1
東備地域	86.9	100.1	115.5	88.5	133.7	154.8	89.9	85.0	101.7	87.9	80.1	78.3
圏域	92.8	94.3	124.0	113.6	126.4	124.8	94.8	88.5	102.2	86.0	88.3	82.2
岡山県	91.6	93.2	121.2	118.6	122.3	113.8	99.2	96.4	99.3	92.4	95.8	94.0
区分	肺炎		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故		自殺	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	岡山市	98.5	94.9	93.4	86.9	96.6	102.4	81.5	87.4	98.9	105.7	90.3
岡山地域	102.1	101.1	101.4	94.9	120.8	124.0	93.3	97.1	110.9	106.1	86.6	89.3
東備地域	120.3	133.1	115.2	95.2	126.9	101.5	140.0	143.9	139.2	110.3	90.6	111.7
圏域	109.4	114.0	106.2	93.4	120.0	111.3	111.6	115.8	121.3	107.8	88.9	97.2
岡山県	109.6	106.9	100.8	85.5	96.3	99.3	94.1	91.7	111.0	104.8	92.2	80.4

資料:厚生労働省「人口動態統計特殊報告」及び岡山県医療推進課)

ウ 乳児死亡

当圏域の乳児死亡率(出生千対)は岡山県とほぼ同率で、年々低下傾向です。
平成27(2015)年の乳児死亡数は12人、乳児死亡率は1.6となっています。

図表11-1-2-8 乳児死亡数及び乳児死亡率の推移



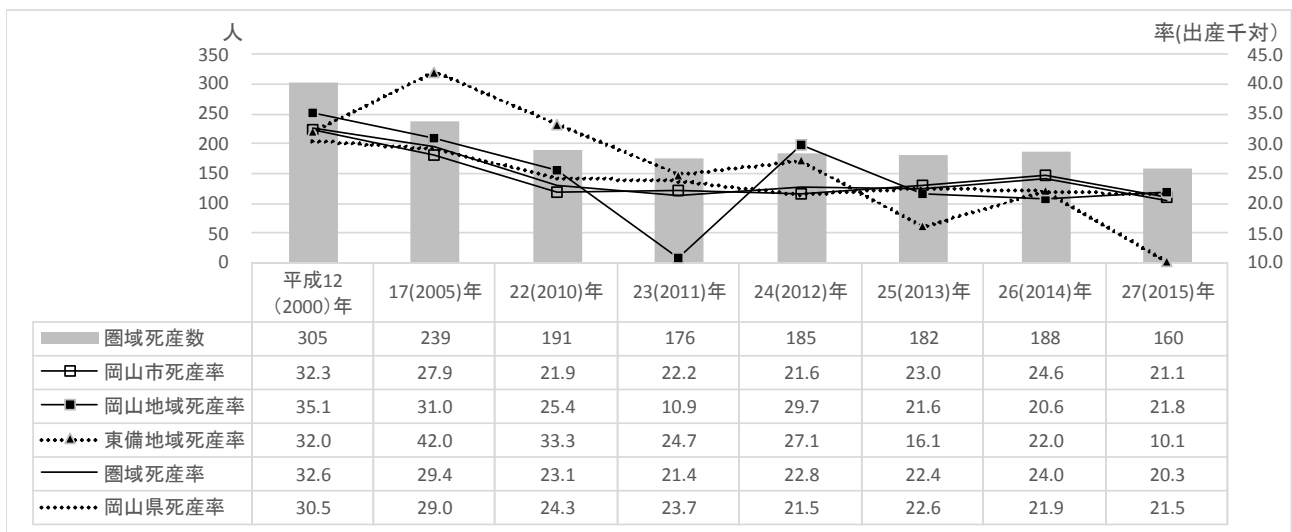
(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

<注>旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

エ 死産

当圏域の死産率(出産千対)は低下傾向です。平成27(2015)年の死産数は160胎、死産率は20.3で、岡山県の21.5より低くなっています。

図表11-1-2-9 死産率の推移



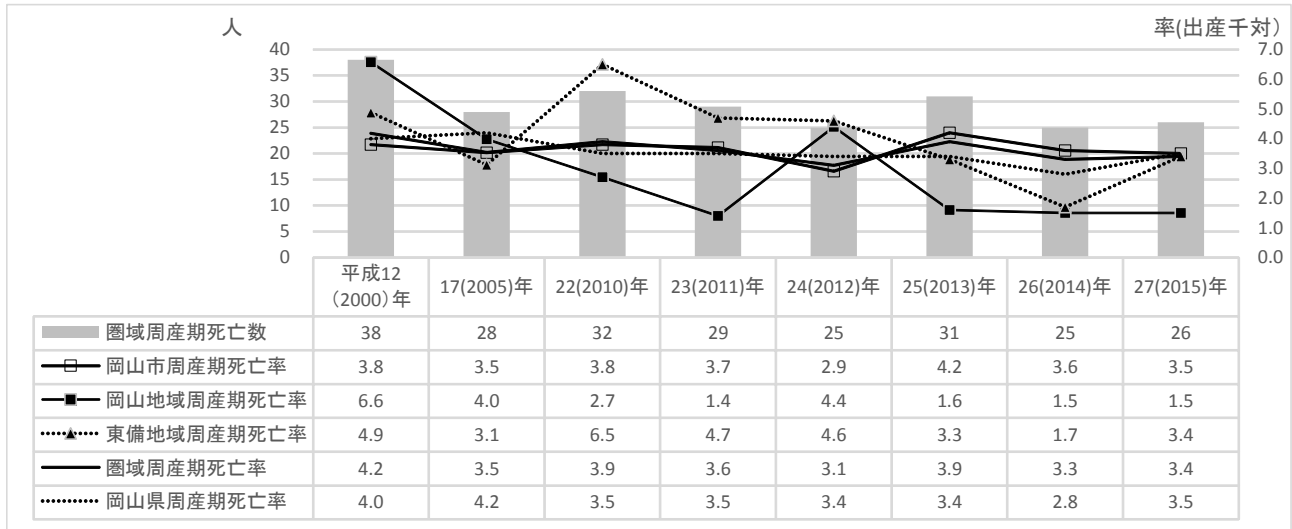
(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

<注>旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

オ 周産期死亡

周産期死亡率(妊娠満22週以後の死産と生後7日未満早期新生児死亡を合わせたもの:出産千対)は年次によって多少高低があります。平成27(2015)年の周産期死亡数は26、周産期死亡率は3.4で、岡山県の3.5とほぼ同率です。

図表11-1-2-10 周産期死亡数及び周産期死亡率の推移



(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

<注>旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

(2) 保健医療資源の状況

① 医療施設

ア 病院

平成27(2015)年10月1日現在の当圏域の病院数は77施設で、病床数は14,730床です。人口10万対病床数は1,597.7で、岡山県の1,499.5より高くなっています。

病院の種別では、一般病院が70施設、精神科病院が7施設です。病床の種別では、一般病床が9,822床、療養病床が1,652床、精神病床が3,167床、結核病床が81床、感染症病床が8床です。

図表11-1-2-11 病院施設数及び病床数(各年10月1日現在)

区分	病院施設数						病院病床数												
	総数		(再掲)				総数		一般病床		療養病床		精神病床		結核病床		感染症病床		
			一般病院	精神科病院															
圏域	平成23年(2011)	82	(8.9)	75	(8.1)	7	(0.8)	15,088	(1,638.2)	10,034	(1,089.5)	1,625	(176.4)	3,335	(362.1)	86	(9.3)	8	(0.9)
	平成24年(2012)	80	(8.7)	73	(7.9)	7	(0.8)	15,013	(1,629.7)	9,989	(1,084.3)	1,645	(178.6)	3,285	(356.6)	86	(9.3)	8	(0.9)
	平成25年(2013)	80	(8.7)	73	(7.9)	7	(0.8)	14,976	(1,628.3)	9,960	(1,082.9)	1,643	(178.6)	3,279	(356.5)	86	(9.4)	8	(0.9)
	平成26年(2014)	78	(8.5)	71	(7.7)	7	(0.8)	14,855	(1,617.0)	9,850	(1,072.2)	1,654	(180.0)	3,257	(354.5)	86	(9.4)	8	(0.9)
	平成27年(2015)	77	(8.4)	70	(7.6)	7	(0.8)	14,730	(1,597.7)	9,822	(1,065.4)	1,652	(179.2)	3,167	(343.5)	81	(8.8)	8	(0.9)
岡山県	平成23年(2011)	174	(9.0)	157	(8.1)	17	(0.9)	29,776	(1,534.1)	18,788	(968.0)	4,906	(252.8)	5,820	(299.8)	236	(12.2)	26	(1.3)
	平成24年(2012)	171	(8.8)	154	(8.0)	17	(0.9)	29,574	(1,527.6)	18,702	(966.0)	4,881	(252.1)	5,749	(297.0)	216	(11.2)	26	(1.3)
	平成25年(2013)	170	(8.8)	153	(7.9)	17	(0.9)	29,378	(1,522.2)	18,555	(961.4)	4,861	(251.9)	5,720	(296.4)	216	(11.2)	26	(1.3)
	平成26年(2014)	167	(8.7)	150	(7.8)	17	(0.9)	29,088	(1,511.9)	18,369	(954.7)	4,854	(252.3)	5,698	(296.2)	141	(7.3)	26	(1.4)
	平成27年(2015)	164	(8.5)	147	(7.7)	17	(0.9)	28,813	(1,499.5)	18,321	(953.5)	4,722	(245.7)	5,608	(291.9)	136	(7.1)	26	(1.4)

(資料:厚生労働省「医療施設調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月人口流動調査」)

※()内は人口10万対

イ 一般診療所

平成27(2015)年10月1日現在の一般診療所数は871施設、人口10万対94.5で、岡山県の86.3より高くなっています。一般診療所の病床数は1,165床、人口10万対126.4で、岡山県の127.4より低くなっています。

ウ 歯科診療所

平成27(2015)年10月1日現在の歯科診療所数は535施設、人口10万対58.0で、岡山県の51.8より高くなっています。

図表11-1-2-12 一般診療所施設数・病床数及び歯科診療所施設数(各年10月1日現在)

区分	年	総数		一般診療所数				歯科診療所数	
		施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数		
圏域	平成23(2011)年	853	(92.6)	1,348	(146.4)	537	(58.3)		
	24(2012)年	858	(93.1)	1,334	(144.8)	539	(58.5)		
	25(2013)年	860	(93.5)	1,275	(138.6)	541	(58.8)		
	26(2014)年	868	(94.5)	1,184	(128.9)	531	(57.8)		
	27(2015)年	871	(94.5)	1,165	(126.4)	535	(58.0)		
岡山県	平成23(2011)年	1,622	(83.6)	2,778	(143.1)	1,002	(51.6)		
	24(2012)年	1,631	(84.2)	2,762	(142.7)	1,003	(51.8)		
	25(2013)年	1,638	(84.9)	2,664	(138.0)	1,006	(52.1)		
	26(2014)年	1,653	(85.9)	2,513	(130.6)	990	(51.5)		
	27(2015)年	1,659	(86.3)	2,448	(127.4)	996	(51.8)		

(資料:厚生労働省「医療施設調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月人口流動調査」)

※()内は人口10万対

② 保健関係施設

生活習慣病対策や母子保健事業等の一般的な保健サービスは市町が実施し、精神保健や難病等の専門的な保健サービスは保健所が実施しています。

当圏域では、政令市保健所を含めて2保健所1支所があり、市町の保健活動の場である保健センターは、5市2町すべてに整備されています。

③ 保健医療従事者

平成26年12月31日現在の当圏域の医師数は3,190人で、人口10万対347.1人、歯科医師数は1,063人で人口10万対115.7人と、岡山県のそれぞれ299.4人、89.1人をいずれも上回っています。また、薬剤師数は2,251人、人口10万対245.0人で、岡山県の204.6人を上回っています。

地域別にみると、医師、歯科医師、薬剤師とも岡山市に集中し、岡山地域、東備地域の人口当たりの人数をみると、いずれも岡山県より少ない状況です。

人口10万対でみた看護職員数は、助産師及び看護師は岡山県を上回っていますが、保健師及び准看護師は下回っています。

図表11-1-2-13 医師、歯科医師、薬剤師数（各年12月31日現在）（単位：人）

区分			保健医療従事者数					
			医師		歯科医師		薬剤師	
圏域	平成24(2012)年	岡山市	2,744	(384.9)	932	(130.7)	1,897	(266.1)
		岡山地域	195	(172.5)	74	(65.5)	152	(134.5)
		東備地域	127	(133.5)	54	(56.8)	125	(131.4)
		圏域	3,066	(332.8)	1,060	(115.1)	2,174	(236.0)
	26(2014)年	岡山市	2,861	(400.1)	934	(130.6)	1,962	(274.4)
		岡山地域	194	(175.6)	75	(67.9)	155	(140.3)
		東備地域	135	(144.4)	54	(57.8)	134	(143.4)
		圏域	3,190	(347.1)	1,063	(115.7)	2,251	(245.0)
岡山県	平成24(2012)年	—	5,618	(290.2)	1,735	(89.6)	3,777	(195.1)
	26(2014)年	—	5,760	(299.4)	1,715	(89.1)	3,937	(204.6)

（資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月人口流動調査」）

※（ ）内は人口10万対

図表11-1-2-14 保健師、助産師、看護師、准看護師数 (各年12月31日現在)(単位:人)

区分			保健医療従事者数							
			保健師		助産師		看護師		准看護師	
圏域	平成24(2012)年	岡山市	324	(45.4)	233	(32.7)	8,424	(1,181.3)	1,673	(234.6)
		岡山地域	47	(41.6)	9	(8.0)	914	(808.5)	443	(391.9)
		東備地域	64	(67.3)	5	(5.3)	509	(535.1)	301	(316.4)
		圏域	435	(47.2)	247	(26.8)	9,847	(1,068.9)	2,417	(262.4)
	26(2014)年	岡山市	310	(43.3)	231	(32.3)	9,145	(1,278.3)	1,514	(211.6)
		岡山地域	56	(50.7)	5	(4.5)	928	(840.0)	471	(426.3)
		東備地域	62	(66.3)	5	(5.3)	551	(589.5)	287	(307.1)
		圏域	428	(46.6)	241	(26.2)	10,624	(1,155.6)	2,272	(247.1)
岡山県	平成24(2012)年	—	946	(48.9)	468	(24.2)	19,989	(1,032.5)	5,472	(282.6)
	26(2014)年	—	936	(48.6)	453	(23.5)	20,926	(1,087.6)	5,119	(266.1)

(資料:厚生労働省「衛生行政報告例」、岡山県統計分析課「岡山県毎月人口流動調査」)

※()内は人口10万対

(3) 受療の動向

① 患者数

圏域内の推計病院入院患者数(「患者調査」の調査日1日当たり)の推移をみると、平成23(2011)年時点に比べ平成26(2014)年では、0.1千人の増となっています。

図表11-1-2-15 推計入院患者数

(単位:千人)

区分		総数	二次医療圏内	二次医療圏外		
				総数	県内	県外
圏域	平成23(2011)年	10.1	9.1	1	0.7	0.2
	26(2014)年	10.2	8.3	1.9	1.2	0.7
岡山県	平成23(2011)年	22.7	19.2	3.5	2.7	0.8
	26(2014)年	21.9	18.1	3.8	2.5	1.3

(資料:厚生労働省「患者調査」)

② 受療動向

県内の病院等に入院している患者の住所地別に受療動向をみると、当圏域では自圏域内での受療割合が92.43%となっています。岡山市民の岡山市内受療割合は89.76%ですが、岡山地域、東備地域では地元の医療機関の受療割合がそれぞれ55.81%、53.02%で、岡山市内の医療機関への受療割合が、それぞれ33.14%、39.52%となっています。

図表11-1-2-16 入院患者の受療動向(一般病床及び療養病床) (単位:%)

受療地	住所地	県南東部				圏域内の圏域患者占有率
		岡山市	岡山地域	東備地域	圏域	
県南東部保健医療圏		92.77	89.33	95.46	92.43	85.62
	岡山市	89.76	33.14	39.52	72.71	
	岡山地域	1.74	55.81	2.92	12.33	
	東備地域	1.27	0.38	53.02	7.40	
県南西部保健医療圏		7.13	8.19	2.92	6.82	84.71
高梁・新見保健医療圏		0.00	2.10	0.00	0.40	91.65
真庭保健医療圏		0.00	0.38	0.00	0.07	83.36
津山・英田保健医療圏		0.11	0.00	1.61	0.27	94.11
計		100.00	100.00	100.00	100.00	

(資料:岡山県医療推進課調(平成29(2017)年1月18日時点)

③ 病床利用率・平均在院日数

当圏域の平成27(2015)年の病床利用率は69.5%で、岡山県の74.1%と比べ低くなっています。また、平均在院日数は27.3日で、岡山県の27.7日と比べ0.4日短くなっています。

図表11-1-2-17 病床利用率及び平均在院日数

区分		病床利用率(%)			平均在院日数(日)		
		総数	一般病床	療養病床	総数	一般病床	療養病床
圏域	平成23(2011)年	73.1	68.4	88.9	31.0	20.4	163.5
	24(2012)年	72.5	67.8	88.9	30.1	19.7	160.3
	25(2013)年	70.6	66.1	85.7	29.4	19.3	155.5
	26(2014)年	74.7	70.7	86.2	28.5	18.6	150.7
	27(2015)年	69.5	64.7	85.2	27.3	17.9	132.7
岡山県	平成23(2011)年	76.6	72.8	88.0	30.8	19.5	143.9
	24(2012)年	76.3	72.4	87.7	30.1	19.1	143.5
	25(2013)年	75.4	71.7	86.4	29.5	18.7	135.0
	26(2014)年	69.6	64.9	86.9	28.8	18.2	127.2
	27(2015)年	74.1	70.0	84.6	27.7	17.6	118.4

(資料:厚生労働省「病院報告」)